

課題解決応援加算事業について

1 事業の目的

地域コミュニティ協議会が主体的に行うまちづくり活動を支援し、もって住民自治及び市民と行政との協働による地域自らのまちづくりの推進に資するためとしている。

2 事業の概要

各地域コミュニティ協議会で、地域まちづくり交付金で行う活動に加え、コミュニティプランに基づき、地域独自の課題解決を行うための新規事業を実施することを応援する。4年間以上事業を継続することを条件に、初年度100万円、2年目75万円、3年目50万円を上限に3年間地域まちづくり交付金を加算する。

平成31年度課題解決応援加算事業 実施地域一覧(2年目継続:6地域コミュニティ協議会)

地域	事業名			事業内容
	初年度補助金(実績)	2年目補助金(予定)	3年目補助金(予定)	
松島	安全で安心して暮らせる松島づくり			発生が危惧される南海トラフ地震に備えて、地域住民の防災意識を啓発するため、地区全体の防災訓練に加えて、単位自主防災会独自の地域に応じた防災訓練を実施する。また、自主防犯活動の更なる活性化を図るため、各種団体と連携して講演会等を実施し、若い世代を新たに取り込む機会を創出する。2年目は防災・防犯マップの更新を実施し、危険個所の現地調査と課題解決を図る。
	¥1,000,000	¥750,000	¥500,000	
二番丁	地域みんなで見守り! 「二番丁みまもるんジャー」			地域の多種多様な課題を解決するためには、地域コミュニティ活動の参加者の増加を図り、地域の連帯感の強化が必要である。誰もが気軽に参加でき、新しい人材養成につながるように地域みんなで見守りを、既存の活動とも連携しながら実施する。2年目は、「二番丁みまもるんジャー」の隊員を募集し、研修会・周知会の実施、危険個所のマップ作成・掲示等を行う。
	¥1,000,000	¥750,000	¥500,000	
川添	防災・減災活動を通じた人づくり・まちづくり事業			災害発生に対し、個々の住民、単位自治会等、地区全体がそれぞれの段階に応じた的確・効果的な対応ができるよう、講演会や説明会を開催し、防災意識を啓発する。また、1年目から継続して作成している防災マップや避難所運営マニュアルを完了させる。活動を通して、地区内の人と人・人と地域のつながりを深める。特に若い世代の参加を呼びかけ、今後の時代を担う人材確保や自治会をはじめとする地域活動の活性化を図る。
	¥1,000,000	¥750,000	¥500,000	
仏生山	健康づくりを核とした新たな交流拠点事業			仏生山地区では、住民の高齢化に加えて、あらゆる世代が車社会の発達により、運動不足に陥っている。また、世代間交流の希薄化やコミュニティ活動の担い手の固定化と高齢化など複合的な課題がある。そこで、気軽に住民が交流できる拠点を開設し、健康ウォーキング、健康・交流サロン、ボランティアガイドの育成を継続的に実施する。
	¥1,000,000	¥750,000	¥500,000	
下笠居	下笠居地区自主防災活動支援事業			地区によって起こり得る災害が異なるため、防災講演会の開催や地区内の危険箇所の確認を通して、それぞれ地区ごとの対応の違いを話し合うことで、防災意識の向上につなげる。地区の自主防災会ごとに防災マップを作成し、それに基づく地区別防災訓練の実施を行い、最終的には地区全体の災害時の危機意識向上を図る。
	¥800,000	¥750,000	¥500,000	
植田	植田の過去と現在を映像化し、未来へと繋ぐアーカイブ活動			現在、多くの住民は地域活動に無関心な傾向にあり、地域の連帯やつながりが希薄になりつつある。そこで、植田の風景や文化、伝統、人、モノ、生活の過去や現在、さまざまな情報を映像で記録し、インターネット番組として定期的に生配信することで、過去の記憶、現在の姿を未来へ繋ぐ。作り手や出演者、視聴者など様々な形で地域の人々が参加することで、地域への愛着や人とのつながりの大切さを再認識する機会を創出する。
	¥1,000,000	¥750,000	¥500,000	